

自前で行われたアンケート調査

*** 市民の生活の実情や課題を把握するために ***

実情と課題を知ることは解決へのベースです。行政が把握していない場合は自分たちで行う、とても大切な活動です。どちらも2022年6月に公表。活かしていきたいです。

▼「岡山の農業の未来について一緒に考えるために」

「たねをまもる会おかやま」が、より安全な学校給食の実現のために、県内の有機栽培などにとりくむ農家の実態調査を行ったものです。県内16市町村の155軒の農家の方が回答をしています。有機認証を受けていなくても、農薬や化学肥料を使わずに栽培している農家が県内にはたくさんおられますが、岡山市の把握は不十分です。



<https://drive.google.com/file/d/1e0zzdLOyZeegyeIVBLkfVrWZI-23kAj/view>

▼「配慮（支援）が必要な子どもの高校進学について」

発達障がいや特別支援教育のニーズのある子どもが、高校進学について悩んだり、希望したりしていることを聞いています。高校や中学校に求めていることを理解し、これからの教育施策に活かしていくために行われました。大塚愛（岡山県議会議員）さんが行い、県内16市町村の157人から寄せられました。詳細はQRコードで検索を。



こんな冊子／「わたしたちが考える防災ハンドブック」

岡山市は、女性の視点を踏まえた地域防災体制の充実を進めるために、「わたしたちが考える防災ハンドブック」を作成しました。「赤ちゃんや子どもがいる家族の災害対策のポイント」、「災害時の防犯対策」ページなど、いろんな工夫があり、読みやすく、わかりやすいです。→岡山市HP (<https://www.city.okayama.jp/0000036213.html>)



編集後記 ★「放課後おにぎり」。

SGSGとみんな食堂「このゆびとまれ」（北区奉還町）のコラボ企画で、毎週金曜日の夕方に行われてきました。夏休み中はお休み。「おにぎり」は9月に方法一新で再開予定です。



のぞみ日誌から

日韓文化交流フェスティバル in okayama (5.5)

岡山市・富川市友好交流協定締結20周年記念の企画が北長瀬未来ふれあい総合公園で行われました。舞台とともに、海鮮チヂミや民族衣装を大塚愛さんと楽しみました。主催者の民団の皆さまに感謝です。



(一社) 大学女性協会全国総会が岡山で (5.21~23)

3年ぶりにリアルで行われた総会です。岡山での受入れということで、みんなで準備をしてきました。熱心な討議はもちろん、岡山市出身の歴史家である磯田道史さんのご講演などに恵まれました。ジェンダー平等にむけてご尽力されてきた先輩方との出会いに感謝しています。



はじめてのボクシング・グローブ (6.3)



女性専用のキックボクシングジムを訪ねたら、あれよあれよと、グローブをつけられ、サンドバッグを叩いていました。気持ちのいい初体験でした。なお、ボクシングを始めるわけではありません。

「地球温暖化と生物多様性の危機を考える -SDGsが目指すもの-」(6.25)

講師は井田徹治さん（共同通信編集委員）。

地球は暑くなり続け、気候変動や砂漠化で悲鳴をあげている。根本的な変革が求められている。世界中を取材されているので、わかりやすく、性根を入れられるお話でした。



「親子関係を円滑に！～親子の絆を強める『CAREプログラム』の紹介」(7.3)

岡山市子ども総合相談所の児童心理司2人による、お話とロールプレイ。子どもとあたたかな関係を築くためのスキルを学びました。具体的なポイントがわかりやすく語られ、親しみやすくもあり、質問も活発に出来ました。広がってほしいです。主催：京山公民館等、共催：チューリップの会。

岡山市議会議員

会派：グリーン

No.61

2022年6月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2022年7月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
e-mail:info@midori-okayama.org https://blog.goo.ne.jp/niji_oni



公立夜間中学の姿が見えてきた

— 市中心部を軸に設置場所を検討 —

「社会参加の感覚」を取り戻したい

5月、6月、7月。私はだんだんと自分が元気になってきている実感があります。コロナの影響で、3年ぶりに、直接出会う集まりや体験をする場が増えてきているからではないかと思えます。

近くの京山公民館にも、写真のように訪れる機会が増えてきました。実際に体験することや、人のぬくもりのなかでコミュニケーションをとることの喜び。温かな「社会参加」の感覚をもつことができ、活力につながるのだと実感しています。コロナはこうした民主主義の核とも思われる「社会参加」の感覚を私たちから奪ってきたのかもしれない。もちろん皆さまの最善の努力に敬意を表しています。

7月半ばになり、コロナ新規陽性者数が増え始めました。コロナ禍における市民生活や事業所への支援とともに、体験や社会参加の機会をさらに意識する必要があります。

魅力ある公立夜間中学をめざす（教育長）

2022年度はじめての本会議である6月議会。公立夜間中学の設置が、いよいよ現実のものとして、具体的な答弁が行われ始めたことが嬉しかったです。

「生きることは学ぶこと」「学ぶことは生きること」。夜間中学は、さまざまな事情で義務教育課程で十分な教育を受けられなかった人たちが「学び直し」をする場、学習機会確保の場です。6月議会で明らかになったのは…。

2025年度設置にむけて今年度、岡山市は公立夜間中学の運営方針や入学要件などを示す大切な「基本計画」

を策定します。その検討のための新たな組織が設置され、秋ごろに初会合を開きます。

広域にわたる岡山連携中枢都市圏の住民も通うことを想定し、交通の利便性などから、市中心部を軸に設置場所を検討しています。期待いっぱいです。



京山公民館にて（左上から時計回り）。*「地域応援人づくり講座」テーマは、「自転車」(5.31)、*フレンドリー京山で料理講座実施への検討(6.9)、*「SDGs交流会」(5.14)、*京山地区の初夏の「環境てんけん2022」(6.4)

6月議会 個人質問から

— 今回とりあげた項目 —

1. プラスチック・海ごみ
2. 公立夜間中学

6月議会では新型コロナ支援として、*物価高騰等の影響を受けている学校給食費について、保護者の負担を軽減するための支援、*低所得の子育て世帯への臨時特別給付金(5万円)+市の上乗せ支給(2万円)、*スマホ決済サービス活用のポイント還元キャンペーン(第4弾)、*路線バス・路面電車の運賃無料DAY&プレミアム付きタクシー券発行などが行われます。★質問が多かったのは、子育て・教育についてです。



1 プラスチック・海ごみ


政令市のリーダーシップで、岡山連携中枢都市圏と協力し効果を上げたい

Q 岡山市は昨年度、「SDGs 守ろう!海・川プロジェクト」を開始。全国的に先進的な取り組みである「岡山市海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」を策定し、4月1日に施行しました。取り組みの意義や今後についてお示しください。
市長 プラスチックごみは大きな問題であり、積極的に取り組むべきである。海洋プラスチックごみ問題に対する市民意識を喚起し、行動の変容を促したい。2024年3月からプラスチックの分別回収も行う。政令市としてのリーダーシップで、岡山連携中枢都市圏と協力し、効果をあげたい。



用水路に隣接した簡易ごみステーションから漏れ出すプラスチックごみ(左)。水門にたまるプラスチックごみ(右)。(写真:平井雅明氏)

Q プランの進捗管理及び見直しを行う推進会議設置はどのように行いますか。
環境局長 本市の関係部署と有識者や市民団体等で構成予定です。年3回程度開催したい。

 市民の協力が不可欠。アクションプランを確実に実行し、課題解決に向かいましょう。

Q 岡山市の用水路密度は全国平均の5倍、4,000kmです。プランでは、市内に水門などにごみがたまるホットスポットが200以上あります。用水路に隣接しているごみにネットをかけるだけの簡易ごみステーションからプラスチックごみが環境へと漏れ出し、用水路に入り込む場合があります。どのように改善を図りますか。
環境局長 ホットスポットは、市民にわかるように場所を広報し、皆さんがごみ回収の計画を立てやすくしたい。用水路に



隣接するごみステーションは、対策検討のため、まず実態把握に努める。市民からの情報・協力をいただけるようにしたい。


マイボトル普及促進。給水スポットの場所がわかるアプリ導入を検討中

Q ペットボトルの消費減に向け、マイボトルの動きが広がっています。市有施設での給水機を増やしませんか。給水スポットがわかるアプリ導入をしませんか。
環境局長 現在、市有施設には17基の給水機を設置。給水スポットの拡大に努めたい。アプリ導入はマイボトル普及の有効な手段であり、検討中である

2 公立夜間中学

入学対象者の要件など、ある程度柔軟な対応も必要だと考える

Q 2020年国勢調査では、未就学者に加え、初めて最終卒業学校が小学校の方の数も分かり、夜間中学対象者の数がより明確に。数を教えてください。
教育長 岡山市の未就学者は229人、最終卒業学校が小学校の方は2,622人、合計2,851人。連携中枢都市圏でこの事業に取り組む4市2町を合わせると、合計で4,409人となる。

 前回2010年国勢調査では、岡山市の未就学者394人しかわかりませんでした。夜間中学のニーズと一致はしないでしょうが、夜間中学の存在は、皆さんの教育機会確保に重要な役割を果たします。

6月議会での質問から

子ども・子育て支援にあたって

*子ども医療費助成拡充にあたって
県内で最低水準の岡山市の子ども医療費助成制度。2023年度実施をめざして、拡充内容の方針決定を6月中を目途に行うとしていましたが、年末年始にかけての2023年度予算案編成時期に先送りまし

この4月に公立夜間中学が開校された札幌市、相模原市、三豊市、福岡市にヒアリングをしました。

Q 修業年限は原則3年ですが、じっくり学びたいというニーズなどから、在籍上限は6年、9年、学校長が留め置くかどうかの判断をするところ、3年で終わる夜間中学はありませんでした。

入学要件では、中学校までの学びが十分だったのか、困っていたのかをヒアリングして判断し、対象から高卒者等を外さず、高卒者がいる学校もありました。岡山市も一人ひとりの学び直しを第一義に、総じて柔軟な対応であってほしいが、ご所見をお聞かせください。

教育長 夜間中学の入学対象者の要件や在籍の上限、入学時期など、今後、基本計画策定のなかで検討をするが、ある程度柔軟な対応も必要であると考えている。学び直したいというニーズを捉え、質の高い教育を安定的に提供できるよう多角的に検討し、魅力ある夜間中学に向けて内容の検討に努める。

公立夜間中学「授業体験」実施にむけて

公立夜間中学の啓発・広報について、「授業体験」を8月下旬に行い、市民のひろばなどで、市民に知らせるとのことです。具体的になったら、必要だと思われる方にお伝えを。みんなで盛り上げていきたいです。
*イラスト:内閣府ホームページより



議会は市民に開かれ、活発であるべき

◆岡山市議会。傍聴席からの撮影を禁止

本会議の傍聴席からの写真・動画の撮影と録音はこれまで原則可能でしたが、5.19の議会運営委員会(議運)において、禁止することになりました(反対少数)。

理由は、撮影された写真や動画が誹謗中傷に使われることを防ぐためだとしていますが、議会は市民のためのものです。市民が市民に開かれた公の場である議会を撮影し、人に伝えることは、民主主義にとって重要なことです。その制限は情報公開を後退させるもので、全く遺憾です。

◆個人質問の時間も削減

6月議会の個人質問時間。通常は20分ですが、一括方式は15分、一問一答方式は10分へと、6.3の議運で議員自らが削減をしました(反対少数)。私が議員になった時は30分でした。



新型コロナ禍、岡山市当局の要請で質問時間の短縮などを決めたことはあり、配慮は必要ですが、今回、要請はありませんでした。しかも、発言時間短縮の提案が、議運当日に行われ、そのまま採決をして決めたことは余りにも拙速です。議会は市民の声を反映させる重要な場です。その短縮にあたっては、一度は会派に持ち帰って、会派内で議論をし、一人会派にも情報提供をした上で、協議を行うべきことです。

* * *

市民とともにある議会運営をめざします。

た。市全体の予算や財源をみて、持続可能な展望をもつためとしています。社会全体で子育てをしていくべきです。

*保育施設の給食費助成も検討

物価高騰対策として、学校給食費と同様に保育施設の給食費助成も、9月議会を見据えて補正予算案の検討が行われます。

*市立園での医療的ケア児受入れ

市立保育園・認定こども園・幼稚園で

の医療的ケア児の受け入れにあたって、9月を目途にガイドラインを策定し、2023年度の入園募集が11月から行われます。まず一歩、長年願っていたので嬉しいです。

*ひとり親家庭等支援事業

ひとり親家庭等が必要なときに相談できるように、休日・夜間の相談窓口が設置されます。